



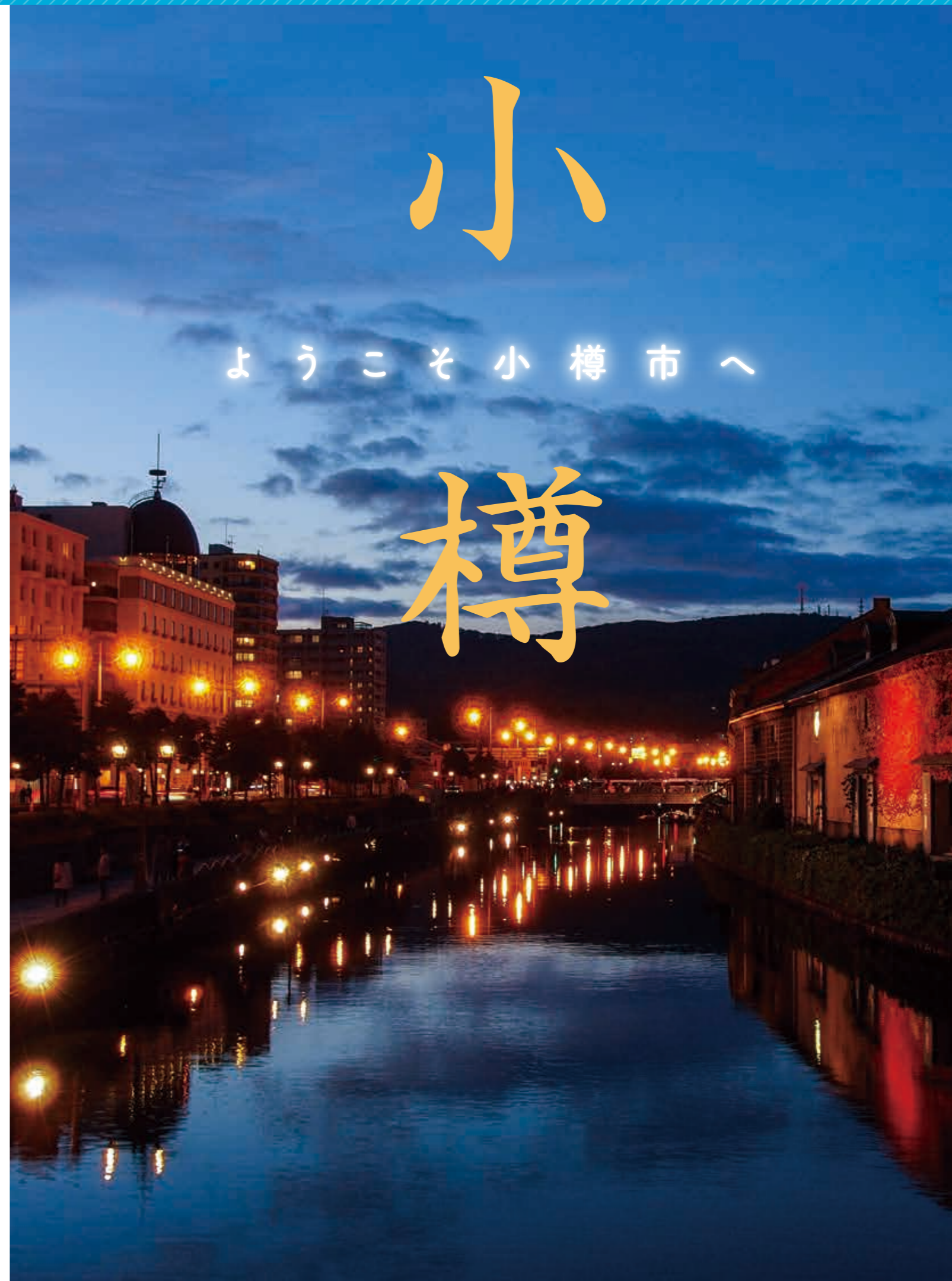
日本国北海道
小樽

小樽市

<https://www.city.otaru.lg.jp/>



小樽市産業港湾部観光振興室
郵便番号047-0007 北海道小樽市港町4番3号



小

ようこそ小樽市へ

樽

北海道小樽市の紹介

小樽市は、海・山・坂の起伏ある地形を有し、北海道開拓の拠点となった歴史や文化が形成された、個性あふれる港まちです。四季折々の変化に富み、北海道のなかでは寒暖の差が小さく、海洋性気候で住みやすいと言われています。自然環境が豊かで、春はハイキング、夏は海水浴、秋は紅葉、冬はスキーと、一年を通じてレジャーを楽しめるまちでもあります。近年は小樽の魅力が国内外に情報発信され、年間700万人を超える観光客が訪れます。

1. 小樽の地理



■ 自然

市街の中央部を三方から山で囲まれ、一方は石狩湾に面した地形から、春はハイキング、夏は海水浴、秋は紅葉、冬はスキーと四季を通じて楽しめます。数箇所ある展望台は小樽港や石狩湾などを一望でき、特に、西海岸は自然探勝路となっており、海と山の自然を満喫できます。また、東側には三方を山に囲まれた閑静な温泉郷もあります。

■ 梅雨のないさわやかな気候

雪が解け大地の植物が一斉に芽吹く北海道の春。自然美あふれる花に囲まれた初夏から秋まで、折々の変化が目を楽しませてくれます。北海道は「梅雨がなく、さわやかな気候」で知られています。本州に比べ湿度が低く、冷房はほとんど必要ありません。この過ごしやすい気候は、多くの業種の企業活動に好影響を与えることでしょう。

■ 産業

漁業、水産加工業、菓子製造業、硝子製造業



硝子製造業▶

■ 市の花

市の花／ツツジ
市の木／シラカンバ
市の鳥／アオバト



ツツジ▶

■ 面積

243.83 km²
小樽市は日本海に沿って東西36.47km、南北20.39kmの細長い地形の都市です。

■ 人口

114,269人(令和2年1月末日現在)
北海道の人口は約527万人。その約半分は札幌市や小樽市を中心とする道央圏に居住しています。

■ 位置

北緯43° 11'27" 東経140° 59'40"
北海道の西海岸に位置し、隣まちの札幌は東に40 km。北緯43度はデトロイトやシカゴ、トロントと近い緯度です。



2. 小樽の歴史

■ 小樽の由来

「小樽」という地名は、昔この地がアイヌ語で「オタルナイ」（砂の中の川という意味）と呼ばれていたことに由来します。江戸時代から、北海道の日本海側では鯨(にしん)漁が盛んで、鯨を求めて本州から多くの人々が移住してきました。1865年に漁業を中心とした集落が建ち、1869年「小樽」と改めました。



■ 「北のウォール街」小樽

鯨漁が小樽経済の基盤を築き、やがて「北のウォール街」と呼ばれるほど、多くの都市銀行や商社が軒を連ね、小樽の穀物相場はロンドンの相場に影響を与えるほどの力を持つようになりました。

■ 豊かな資源と伝統の技術が産業を支える

漁業をはじめとする第一次産業が発展するにつれて、北国の厳しい寒さに耐える金属工業や、北海道産の原料を使った食品加工、漁業用の浮き玉作りから始まったガラス製造などの第二次産業が栄えました。さらに、北海道開拓時から盛んになった本州との交易で商業が培われ、そして近年には観光地として多くの来訪客を集める街になりました。これらのすべての産業が小樽の現在の姿として息づいています。



「北のウォール街」として世界の相場に影響を与えた色内地区には、当時の銀行建築物が今も大切に保存され、小樽観光の人気スポットとなっています。(日本銀行旧小樽支店金融資料館)



石炭の積み出し港として開拓の重責を担った小樽港。北海道で最初の鉄道が開通し、産業の礎となりました。

3. おすすめ観光スポット

①小樽芸術村

歴史的な建物を再利用し、それらの建物が建造された時代（20世紀初頭）を彩ってきた美術品が展示されています。

●似鳥美術館（旧北海道拓殖銀行小樽支店）

銀行だった4階建ての建物に日本画や洋画のほか木彫りなどの展示があります。

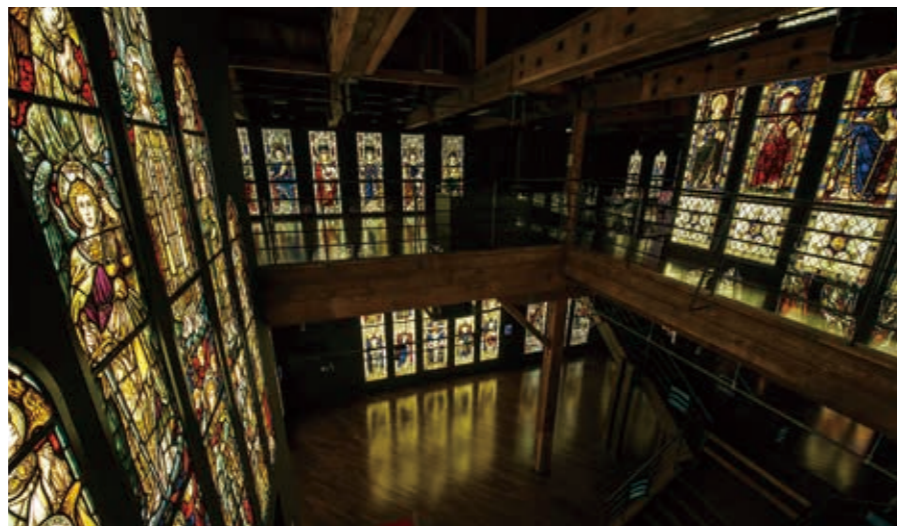
1階は、「ルイス・C・ティファニステンドグラスギャラリー」、地下1階は、「アールヌーヴォー・アールデコグラスギャラリー」です。

●ステンドグラス美術館（旧高橋倉庫）

●旧三井銀行小樽支店



旧三井銀行小樽支店



ステンドグラス美術館(旧高橋倉庫)

②おたる水族館



日本海に臨む海岸をそのまま海獣公園として取り込んでいる豪快なつくりの水族館。ショーも豊富に行われており、ペンギンのお散歩姿やオタリアやイルカのショー、トドのダイビングなど様々な動物たちの姿を見ることができます。



◎小樽にはこのほかにも見どころがいっぱいあります！

観光情報は、「小樽国際インフォメーションセンター」でゲットすることができます。JR小樽駅から8分の場所にあり、英語、中国語、韓国語を話せるスタッフが常駐しています。ビジットジャパン案内所にも認定されており、外国語版観光マップも置いてあり、Free Wi-Fiもあります。

小樽市色内2丁目1-20 運河プラザ内
営業時間：9：00～18：00（季節により変動あり）

ここで情報をGET!



4. みなとまち・小樽

「天然の良港」小樽港は生産と物流の拠点

北海道の開拓は、明治のはじめに小樽港を玄関口として始まりました。形状に恵まれた天然の良港・小樽港は、本州交易の中心として開拓の原動力となり、以来1世紀半にわたり、小樽市は生産・物流における北海道の重要都市としての役割を果たしています。

豪華クルーズ客船寄港地として人気の小樽港

小樽港はクルーズ客船の寄港地としても人気の港です。日本をはじめ、世界各国の豪華客船がたびたび入港します。小樽を寄港地として選ばれる理由として、「北海道有数の観光地」「港から観光地が近い」「かつての国際貿易港としての知名度」「交通の便がいい」などがあげられています。世界的にもクルーズ船での旅行がブームになっており、これからも小樽港にもクルーズ船がたくさん入港できるように、港湾整備を続けています。



アクセス



5. リゾート都市・小樽

レジャーやスポーツ施設も充実

周辺には、四季折々の自然や恵まれた地形風土を生かした、さまざまなレジャーやスポーツ施設があります。ゴルフ場や温泉、スポーツクラブなども充実し、多様なニーズに対応した余暇を楽しむことができます。

海の遊び

◆マリンレジャー

積丹半島などの数々のスポットまで家族やグループでクルージングが楽しめる小樽港マリーナ。水族館がある祝津地区へ交通もかねて、海の旅が楽しめる海上観光船。小樽運河をゆったりと進む運河クルーズなど、特色のあるマリンレジャーが盛りだくさん。



スキー



小樽のスキー場は雪質も良く、スキーを楽しむには最高の場所です。全部で3か所のスキー場があり、アクセスも良く、道具もレンタルできます。

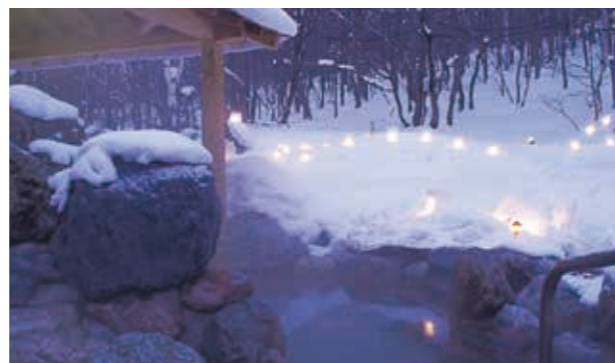
初級から上級まで幅広いコースがあり、市街地に一番近く海も見え、夜景も美しい小樽天狗山スキー場。高速道路のインターチェンジに近く、温泉地区にある朝里川温泉スキー場。小樽と札幌の中間地点にあり、眼下に日本海が広がるオーンススキー場など、どこも特徴的なスキー場です。



温泉

◆朝里川温泉

1954年開湯した小樽からも札幌からも近い温泉郷。海のイメージが強い小樽市内に所在することが意外に思われるほど山あいの温泉。ホテルや旅館が朝里川に沿って南北に軒を連ね、閑静な温泉街を形成しています。



6. 小樽のまつり・イベント

小樽雪あかりの路

[イルミネーション]

会期：毎年2月上旬から中旬

会場：小樽運河、手宮線会場など小樽市内一円

真冬の小樽の街並みが10万本のろうそくで彩られる幻想的なイベント。「運河会場」では、運河の水面に浮かべた約200個の浮き玉キャンドル（ニシン漁が盛んだったころに使用された魚網につける浮き玉を利用）や散策路に設置されたスノーキャンドル、オブジェなどが幻想的な世界を創出し、「手宮線会場」では、スノートンネルやあつたかメニューを提供する屋台などが来場者を迎えます。点灯は17～21時。



小樽運河

小樽運河は9年の歳月をかけて1923年に完成しました。完成当初は本船からの荷物がひっきりなしに運河を行き交い、数千人の荷揚げ作業員が早朝から夜まで働いていました。しかし、時代とともに運河は次第に実用的な意味を失っていきました。

その後、運河を全部埋め立てる計画が持ち上がりましたが、運河の保存を求める運動が市民を中心に起きました。その結果、幅の半分が埋め立てられることとなり、現在でも当時を忍ばせる運河や石造りの倉庫を見ることができます。この運動は、現在のように観光地として知られていくきっかけとなりました。今や小樽観光のシンボルで運河沿いには石畳の散策路が整備され、クラシカルな趣でたくさんの観光客が賑わいを見せています。ところどころに設けられたガス灯は、夜になるとあかりを灯し石造り倉庫がライトアップされ、日中とは全く違う風景を見せてくれます。

周辺の石造り倉庫も、多くはレストランや観光施設への転換を果たし、一大観光エリアを形成しています。



おたる潮まつり



[行列・パレード 花火大会]

会期：毎年7月下旬

会場：おたる潮まつりメイン会場（小樽港第3号ふ頭基部および市内中心部）

小樽の歴史や文化を次世代に伝承し、小樽の発展を祈願する契機として始まり、毎年100万人の来場者数を数えます。中でも2日目に行われる「潮ねりこみ」は市内中心部を約7000人が踊り練り歩きます。また、初日と最終日20時からの大花火大会では合計2500発の花火が小樽港の海上に打ち上げられ、小樽の夏の夜空を彩ります。



7. 小樽周辺の食品・銘酒/小樽のおみやげ・工芸品

小樽は、豊かな資源や伝統の技術を使った、ものづくりが盛んなまちです。菓子や水産加工品など、小樽市内で作られた製品は、本州のデパートの物産展などでも人気が高く、全国にファンが広がっています。近年は台湾や香港など、海外での販売も盛んです。

■ 海鮮・寿司・水産加工品

小樽周辺は海産物の宝庫。古くから漁業が盛だった小樽からの加工技術の蓄積により、新鮮な魚介類を使った水産加工品がたくさんあります。国内外の品評会で受賞する製品も多く、小樽の水産会社のレベルの高さを実証しています。市内にはすし店も数多くあり、小樽観光で訪れた人々を魅了しています。



■ フルーツ・スイーツ

小樽の周辺の仁木・余市・赤井川では、イチゴ、さくらんぼ、ブドウ、りんご、ブルーベリーなど豊富な果実が取れるので、そのまま食べることはもちろん、ケーキやワインなどの原料として新鮮なまま味わうことができます。



■ 酒類

● 日本酒

小樽には、田中酒造という日本酒会社があり、天狗山から流れ出る水と北海道米の品質の良さで数々の賞を受賞する美味しい日本酒を味わうことができます。なかでも、「寶川」は新酒鑑評会において「吟醸酒の部」三年連続金賞を受賞する日本酒の最高傑作と言われています。



● ワイン

北海道産ぶどうにこだわった、純国産ワインが北海道ワインの特長です。ぶどうの品種、収穫年、原産地を明記し、非加熱処理をしている生ワインです。様々なワインコンクールで数々の賞を受賞しており、限定醸造の貴腐葡萄37ケルナーは、国産ワインコンクールで北海道のワイナリー初の金賞を受賞しました。



● ウイスキー

小樽市の隣、余市町はニッカウイスキーが創業した地としても知られ、スコットランドの情緒あふれる余市蒸留所は今でも伝統的な製造法を守っており、観光名所となっている。創業者の竹鶴政孝は、気候がスコッチウイスキーの王国スコットランドに似ていたこと、ウイスキーの製造に欠かせないピート（泥炭）が入手できたことから、この地を選んだと言われています。



■ ガラス工芸・クラフト

吹きガラスやバーナーワーク、カットガラス（小樽切子）、ガラスと漆を組み合わせた装飾品など、ガラス加工技術と日本の伝統技術を融合させたデザイン性の高いガラス工芸品は国内外で好評を得ています。また、オルゴール、木工、染織など手づくりの製品も数多くあり、全国から注目されています。



8. 小樽周辺の個性的で魅力的な小鎮

絶景の海の街 積丹町

積丹町の産業の中心である漁業の中でも特にウニが名物で春のサクラマス、6月から8月のウニ漁、秋のサケ漁、冬季のタラ漁と四季を通して水揚げがあります。また、シャコタンブルといわれる「神威岬」の景観は絶景で、積丹地区の海は北海道で唯一、海中公園に指定されています。



雄大な自然と海の街 古平町

古平町は、自然の造形美に富む景勝地として知られています。とくに余市～古平海岸は、シリパラインと呼ばれる断崖が続き、立岩、セタカムイ岩、モッコ岩、ローソク岩（観音岩）などの奇岩が目を楽しませてくれます。



フルーツの街 仁木町

「果実とやすらぎの里」仁木町は、フルーツ王国。四季を通じて美味しい果物がいっぱい。春はいちご、初夏はさくらんぼ、ブルーベリー、秋の果物は、ぶどう、りんご、ブルーベリーなど。仁木町の観光農園では、「安心」「安全」で新鮮な果物を、直接、木からもぎとって食べる「くだもの狩り」が楽しめます。



洋酒と海鮮の街 余市町

ワインやウイスキーで有名な余市町ではワイン加工に使われるぶどうなどの果樹栽培の他、イカ・エビ・カレイ・タラ・サケなど漁業も盛んで豊富な山海の幸を利用した食品加工業にも力を入れています。



リゾートと農業の街 - 赤井川村

赤井川村は、農産物の品目は多岐にわたり、北海道で栽培できる農産物は何でも出来ると言われています。観光業では、スキー場を中心としたキロロリゾートがオープンして以来さらに観光客の人気となっています。また、ウィンタースポーツに限らず夏のネイチャー体験の人気も高まっています。



小樽でのゆったりした滞在先

◆宿泊施設についての情報は、社団法人小樽観光協会のホームページをご覧ください。 <https://www.otaru.gr.jp/>

◆天然温泉灯の湯 ドーミーインPREMIUM小樽

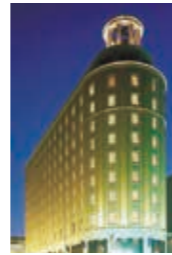
小樽市街地にあるホテルでは珍しい、時下厳選による天然温泉の大浴場が魅力です。レストラン「北の番屋」では、和洋海鮮バイキングの朝食が用意され、充実の朝食が満喫できます。



小樽市稲穂3丁目9-1
<https://www.hotespa.net/hotels/>

◆オーセントホテル小樽

ゆるやかな曲線を描くクラシカルな建物で小樽の中心部に位置するシティホテルです。目の前に広がるのは、ノスタルジックな旅情を感じさせる小樽の夜景。くつろぎを追求した客室は、港町の優しさや懐かしさに包まれ心なごむ空間を演出し、大切な人と旅の想いを語るのにふさわしい空間です。館内には飲食施設も充実、大浴場も完備しています。



小樽市稲穂2丁目15-1
<https://www.authent.co.jp/>

◆THE GREEN OTARU

小樽駅から徒歩3分に位置したビジネス、観光の拠点として最適なロケーション。スタンダードな部屋からドミトリーまで幅広いタイプを選べます。



小樽市稲穂3-5-14
<http://the-green.jp/>

◆ホテル ノルド小樽

イタリア語で「北」という意味を持つ当ホテルは名前のとおり、小樽運河前に佇むヨーロッパ調のホテルです。木を基調にした内装が暖かさとしやすさを作り出し旅の疲れを癒してくれる、そんな空間です。展望ラウンジからは270度の景色がご覧いただけます。



小樽市色内1-4-16
<https://www.hotelnord.co.jp/>

◆小樽運河前 ホテルソニア

小樽運河に面した絶好のロケーションに建つホテル、小樽ふる川。小樽に相応しく、ノスタルジックなムードに包まれた心落ち着く館内に、温泉もあります。正面に臨む小樽運河の夜景とともに、旅の疲れを癒します。



小樽市色内1丁目4-20
<https://sonia-otaru.com>

◆運河の宿 小樽ふる川

小樽運河に面した絶好のロケーションに建つホテル、小樽ふる川。小樽に相応しく、ノスタルジックなムードに包まれた心落ち着く館内に、温泉もあります。正面に臨む小樽運河の夜景とともに、旅の疲れを癒します。



小樽市色内1丁目2-15
<https://www.otaru-furukawa.com/>

◆ホテルトリフィート小樽運河

「倉庫」「軟石」「禅」「秘密基地」の4テーマでデザインされた客室。日本で3人しか居ない銭湯絵師によって小樽の風景が描かれた大浴場で癒しのひと時をお過ごしください。



小樽市色内1-5-7
<https://torifito.jp/otaru canal/>

◆UNWIND HOTEL & BAR OTARU

小樽の歴史的建造物をリノベーションしたブティックホテル。夜はバー、朝はモーニングハイティーで、優雅なひと時をご堪能いただけます。



小樽市色内1丁目8-25
<https://www.hotel-unwind.com/otaru/>

◆ホテル ノイシュロス小樽

ニセコ・積丹・小樽海岸国定公園内にある大自然に囲まれた、全室オーシャンビューの露天風呂付リゾートホテル。三方向が海に囲まれ、外観はウィーンのお城を模し、まさに『天空に浮かんだ城』。目の前に広がる海の大パノラマには圧巻、極上のリゾート空間です。



小樽市祝津3丁目282
<https://www.neuschloss.com/>

◆料亭旅館 銀鱈荘

明治6年、余市の豪壮かつ優美な姿を誇る鯉御殿として建築されました。昭和13年、現在の地に当時の建築様式のまま移築され、旅館として開業。日本海を見おろす雅趣ゆたかな露天岩風呂を持つ料亭旅館として、静かに時を刻み続けています。



小樽市桜1-1
<https://www.ginryusou.com/>

◆小樽朝里川温泉 ホテル武蔵亭

地元の食材を厳選して使用、真心で調理致します。客室は和室中心でゆったり落ち着けます。身体が芯からあたたまり、心も身もすっきり癒される岩盤風呂もおすすめです。



小樽市朝里川温泉2丁目686
<https://www.musashitei.co.jp/>

◆小樽旅亭 蔵群

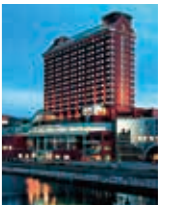
小樽の蔵の「和」と現代に息づく「珠玉」を建築家・中山眞琴氏が融合させた重厚で落ち着きを感じさせる内外観。19の客室にはそれぞれに趣の異なるインテリアを、またお食事用の個室では港町ならではの特上料理を・・・これまでにない「ゆとり」と「くつろぎ」をお届けします。



小樽市朝里川温泉2丁目685
<https://www.kuramure.co>

◆グランドパーク小樽

札幌市からわずか35キロに位置する石狩湾に面した、ラグジュアリーなリゾートホテル。小樽は伝統的な街並み、ビクトリア調の建造物や運河、吹きガラス産業で名高く、18階建ての当ホテルは絵画のように美しい小樽港に面した最高のロケーションにあります。プレジデンシャルスイートは海側最上階で、お部屋からは石狩湾を見下ろす最高のビューポイントが独占できます。



小樽市築港11-3
<https://grandparkotaru.com/>

◆小樽朝里クラッセホテル

森の中の露天風呂が魅力の小樽市郊外にある温泉リゾートホテル。人気の客室露天風呂はそれぞれ違った味わいの温泉を部屋でゆっくり楽しめます。眼下に眺望する大自然とゆったり落ち着いた空間で心も身体もリフレッシュ。小樽市内観光のほか、近郊に札幌国際スキー場もあり、スキー・スノーボードにも便利です。



小樽市朝里川温泉2丁目676
<http://www.classe-hotel.com/>

◆小樽朝里川温泉 宏楽園

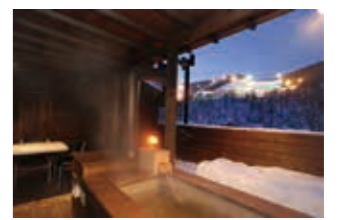
二万坪の日本庭園に囲まれた和風旅館です。貸切温泉や客室露天風呂も設備され、プライベートな温泉気分を満喫できます。敷地より湧出する源泉は「美肌の湯」。



小樽市新光5丁目18-2
<https://www.otaru-kourakuen.com/>

◆別荘 ウィンケル

小樽の朝里川温泉にある寛ぎの貸別荘。2名様～大家族、グループ、団体OK！キッチン、家電、布団まで設備、備品も充実。夏はBBQ、冬はスキーと四季を通してアウトドアを満喫できます。



小樽市朝里川温泉2丁目686
<http://www.winkel.co.jp/>